

事務事業名		清掃推進事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	02:自然豊かな環境の保全と創造			事業期間		予算科目			
	施策名	05:環境の保全と共生					<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項
	基本事業名	03:良好な生活環境の確保			01	04		02	01	01
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
所属	部課名	生活福祉部 市民生活環境課								
	係名	環境衛生係	電話	27 - 3111						
			内線	125						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(期間限定複数年度のみ)			
6月の第1日曜日の早朝に、市内全域の清掃活動の実施を呼びかけ、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促し、快適で住みよい生活環境の保全を図る。 市では、道路側溝から引き上げられた汚泥の一時仮置場を確保すると共に、土木業者等に依頼して汚泥運搬車両を各地域に配車している。また、独自で車両を用意した地域に対しても、2台分を限度として1台当たり2,000円を車両借上げ料として補助している。 主な業務は、企画、日程調整、一時仮置場の確保、車両の借り上げ、手配、開催案内の通知、当日の配車、対応、報告書の徴収、とりまとめ、借り上げ料、補助金の支払い、処理依頼先との調整、汚泥の処理。事業費は、車両借上料、汚泥処理委託料、一時仮置場の掘削委託料などに支出される。							総投入量(千円)	事業費	国庫支出金	
								財源内訳	都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
							事業費計(A)	0		
							人件費	正規職員従事人数		
								延べ業務時間		
							人件費計(B)	0		
							トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
市民総参加のもと、6月の第1日曜日の早朝に、市内全域の清掃活動の実施により、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促し、快適で住みよい生活環境の保全を図った。		ア	市の車両借上台数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	地域での車両借上台数
同上		ウ	実施日数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
生活環境(特に道路側溝の汚泥)		単位	
		カ	地域公民館数
		キ	人口
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
清掃活動の実施により、生活環境を清潔に保つ。地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促す。		名称	
		単位	
		サ	汚泥処理量
		シ	清掃活動参加数
		ス	市内の清掃活動実施地域の割合
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
良好な生活環境を確保する。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)	
		単位							
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	677	880	1,105	774	880	880
	事業費計(A)		千円	677	880	1,105	774	880	880
	人件費	正規職員従事人数	人	14	14	14	14	14	14
		延べ業務時間	時間	560	560	280	280	560	560
		人件費計(B)	千円	2,240	2,240	1,120	1,120	2,240	2,240
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,917	3,120	2,225	1,894	3,120
活動指標	ア	台	23	23	11	11	27	27	
	イ	台	38	37	29	21	40	40	
	ウ	日	2	2	1	1	1	1	
対象指標	カ	館	133	133	133	133	133	133	
	キ	人	43702	43209	42575	41769	43000	43000	
	ク								
成果指標	サ	t	32.7	37.6	70	19.4	37	37	
	シ	人	8441	8414	7988	7324	8550	8600	
	ス	%	100	100	100	100	100	100	

事務事業ID	0083	事務事業名	清掃推進事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 市民総参加による市内の清掃活動を実施することにより、快適で住みよい生活環境を保持し、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を図るため、S45年度から開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 当初は、側溝の汚泥上げ、草刈りのほか、薬剤散布等も実施していたが、現在は、衛生状態等の生活環境の向上により、薬剤散布を行う地域は減少してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 草刈り後の草の処理方法等、清掃活動により発生した廃棄物の処理についての要望が寄せられる。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 事業の実施により、生活環境の保持のほか、市民意識の高揚も図られるため、快適で住みよい生活環境が形成される。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 市が関与しなければ、汚泥や草等の廃棄物の処理が困難なため。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 継続して実施していくことにより、市民意識の高揚が図られ、さらに充実した活動が見込める。また、地域だけでなく、事業所等にも清掃活動の実施を促すことにより、一層の成果の向上が見込める。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 市民総参加を呼びかけて実施しているが、全世帯からの参加には至っていない状況である。そのため、徹底した呼びかけと継続した事業の実施により、市民意識の向上を図り、さらに参加者を増やし、事業の成果を向上させる余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 事業を廃止した場合、生活環境の清掃活動については地域の自主性に頼らざる得なくなる。また、道路側溝の汚泥処理について大きな成果を挙げている事業であるため、住民の協力が得られなくなる事で、道路維持に係る市の負担が増加する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 住民の実践活動を伴った市民意識の向上を図れる事業が他には無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 事業費の大半が廃棄物処理に係る費用であり、適正に廃棄物を処理する上で、必要最低限の費用で事業を実施している状況である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 人件費等の効率化を図るため、住民や地元の土木業者にも協力を要請し、平成19年度から1日で実施した。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 市内全域を対象とした事業のため、特定の受益者負担は無く、事業費は全て一般財源である。

事務事業ID	0083	事務事業名	清掃推進事業
--------	------	-------	--------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>市内一斉清掃活動は、昭和45年度から現在に至るまでの成果により、市民に十分浸透した事業である。今年度の市民の参加率は約6割であった。市民の多くの協力により、生活環境の保全に対し大きな効果を上げている。今後も継続して事業を実施し、市民の積極的な参加を促していく必要がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>広報や新聞による市民への事業周知を行い、各地域公民館、地域公衆衛生組合長、衛生監視員等の協力を得て事業を運営する。また、市内の清掃活動を通じ地域環境の形成に対する市民意識を向上を促し、良好な生活環境を維持する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>一斉清掃の際に出る汚泥捨て場が将来埋め立てられる計画になっている。そのため、新たな汚泥捨て場の確保が必要不可欠である。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民生活環境課長	
-------	----------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>市内一斉清掃活動は、自宅周辺や公共空地のごみ拾い、道路側溝の泥揚げなど、昭和45年度から継続実施されてきており、市民に十分浸透した事業である。平成20年度の市民の参加率は約6割であり、多くの市民の協力により、生活環境の保全に大きな効果を上げている。20年度においては、側溝から揚げた汚泥の一時置場は確保できたものの、今後も継続して事業を実施するに当たっては大きな課題であると考えているが、当面は確保できているため、次年度以降もこれまで同様継続していくこととする。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>例年市民の参加率は6割程度であるので、今後も参加率を維持しながら、多くの市民から協力が得られるよう事業計画及び運営を行う。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
